

Title	編集後記
Sub Title	
Author	池田, 真朗(Ikeda, Masao)
Publisher	慶應義塾大学大学院法学研究科
Publication year	1996
Jtitle	法學政治學論究 : 法律・政治・社会 (Hogaku seijigaku ronkyu : Journal of law and political studies). No.31 (1996. 12) ,p.628- 628
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10086101-00000031-0628

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

郵送の場合 〒一〇八 東京都港区三田二一五―四五

慶應義塾大学教務部法学部係

なお、郵送で投稿規程を請求する場合は、封書で表面左下に「論究投稿規程請求」と記入し、返信用封筒（長形三号）を使用。宛先記入の上、切手九〇円を貼付）を同封すること。

十一 問合せ先（封書に限る）

〒一〇八 東京都港区三田二一五―四五

慶應義塾大学法学部研究室内

池田真朗

表面左下に「論究問合せ」と記入し、返信用封筒（宛先記入の上、切手八〇円を貼付）を同封すること。

〔編集後記〕

今号の応募状況は、論文提出が二三件で、審査の結果、条件付き合格による再審査を含む最終合格が一七件となった。

冬季号は、論文提出が八月ということで、応募者が夏休みになる傾向がある。今回もかなりの分量となった。しかし、以前にもこの欄に記したように、編集担当者としては、量だけでなく質の面もいっそう高い評価を得られるものとしていかなければならないと考えている。

また、最近では留学生の投稿も多く、それらの方々が故国に帰って研究者として活躍する日も遠くないと感じる。将来は本誌出身者の国際的同志会ができるようになってほしいものと思う。

（池田真朗・記）